



## ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書

団体名	特定非営利活動法人 大山捕獲隊		
団体の所在地	兵庫県篠山市	代表者名	西牧正美

1. 事業名	住民参加型アライグマ排除事業		
2. 実施期間	平成27年4月1日～平成28年3月 31 日		
3. 主な実施場所	兵庫県篠山市		
4. 活動形態	普及啓発活動、実践活動、調査活動		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・ 人数等)	<p>① 活動内容は、特定外来生物(アライグマ&amp;ヌートリア)の捕獲を進めています。</p> <p>② 隊員は現在 14 人で、教師や住職や自営など、多職業のメンバーが集まり、活動を行っています。</p> <p>③ 当活動の趣旨は、「生態系の崩壊を阻止」して、「生活被害や農業被害の軽減・防除」の為に、個体の捕獲が第一ですが、獣害に強い組織を持った地域づくりも大切なことであり、地域丸ごとの活動を考えながら進めています。</p> <p>④ 活動は任意団体の時期を含めて7年目を迎え、ようやく地域にも馴染んで来て、成果が住民の皆さんと共有出来るようになって来ました。</p>		
6. 成果・反響・ 反省点等	<p>① アライグマの捕獲が、H27年度末で通算 160 頭の捕獲に至りました。</p> <p>② 篠山市の大山西部地区においては、被害も激減して、アライグマの獣影を見掛ける事もめっきり減って来ました。</p> <p>③ 他地域からも、獣害の相談や捕獲依頼が聞かれる様になりましたが、確実な対応をする為に、ロケハンから進めています。これは、いい加減な対応をすることによって、信頼関係に影響しない様に、慎重に掛かっています。</p> <p>④ また、各拠点(近隣自治会等)では、年度毎の役員さんの改選等で、これまで関係のあった方が自治会長になられたり、退任された方がこの活動だけは引き継がれたり、コアになる人づくりもうまく回り始めているところ です。</p> <p>⑤ この活動のポイントとしては、捕獲が出来た場合は「完封」なのですが、捕獲が出来なかったり、長期に亘る場合の対応が常に問題となります。現場の状況や痕跡を正確に分析すること等で経験が問われるところとなり、有識者との連携と協働が欠かせません。</p>		
7. 成果物	なし		
8. 活動写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(アライグマにマダニが)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(冬は里山を徘徊)</p> </div> </div>		